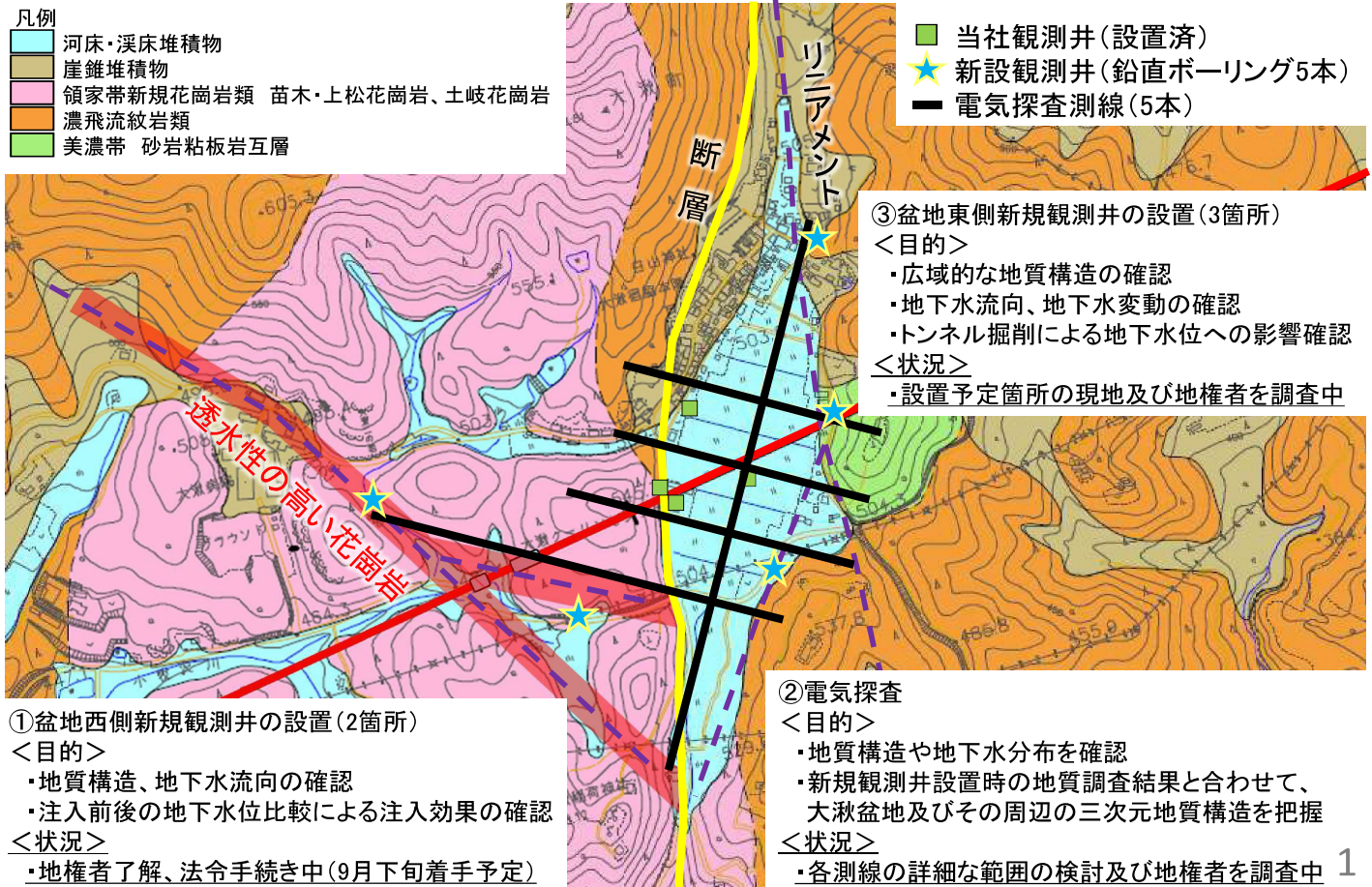


追加調査の状況



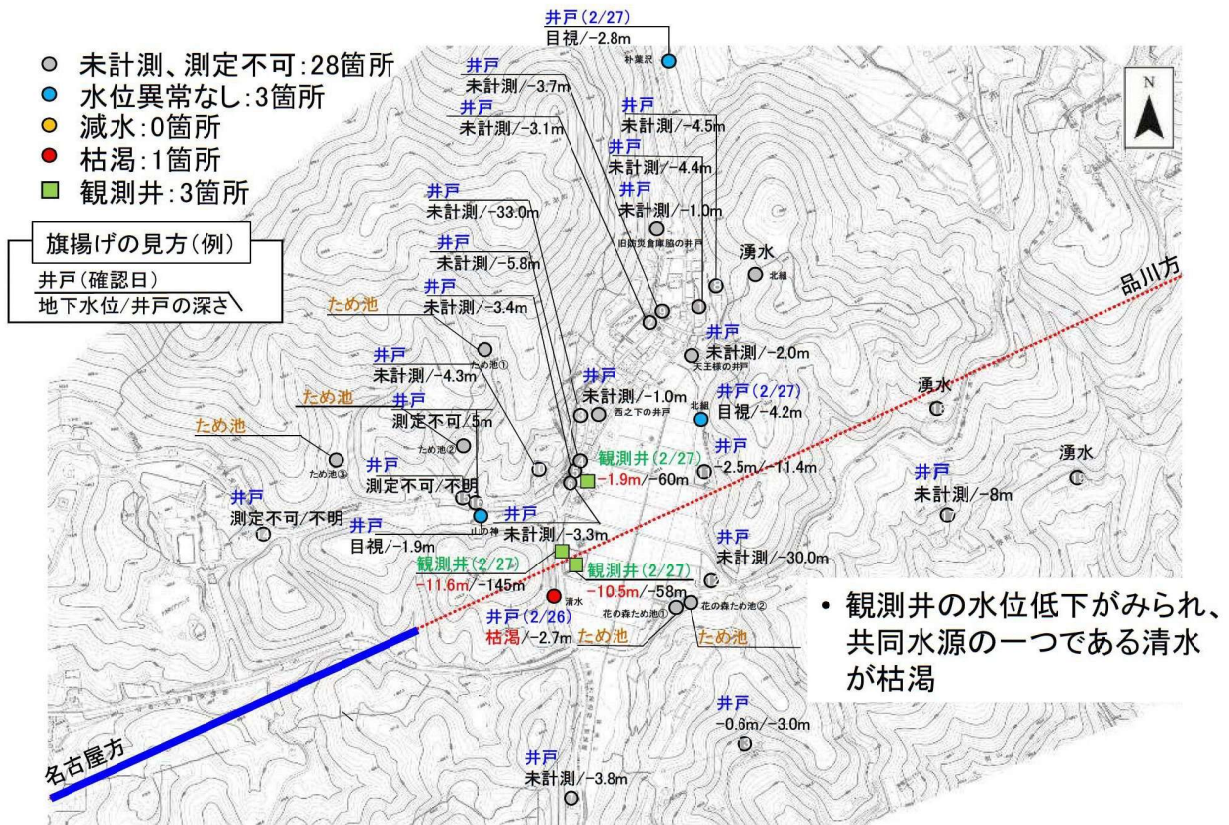
原因究明について

○ 広域的な水文地質構造の解明については、まずは現在進めている追加ボーリング、電気探査の結果を分析のうえ、考察します

- ・ 現在進めている追加ボーリング、電気探査により、大湫断層付近、および大湫盆地周辺の地下水の涵養状況を把握することで、基礎的な情報を補強します。
- ・ これにより、広域的な水文地質構造を考察していきます。

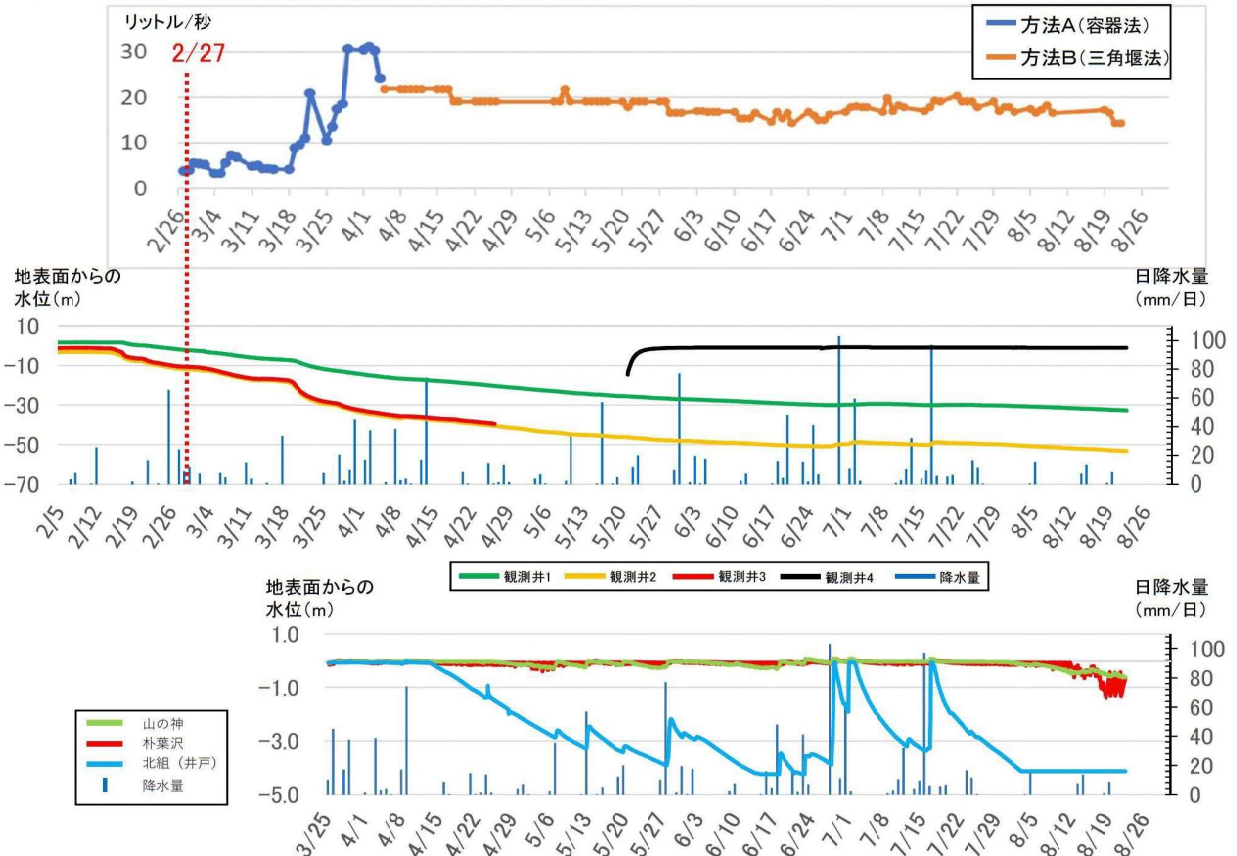
2/27時点の状況(水源)

6/4第3回資料再掲



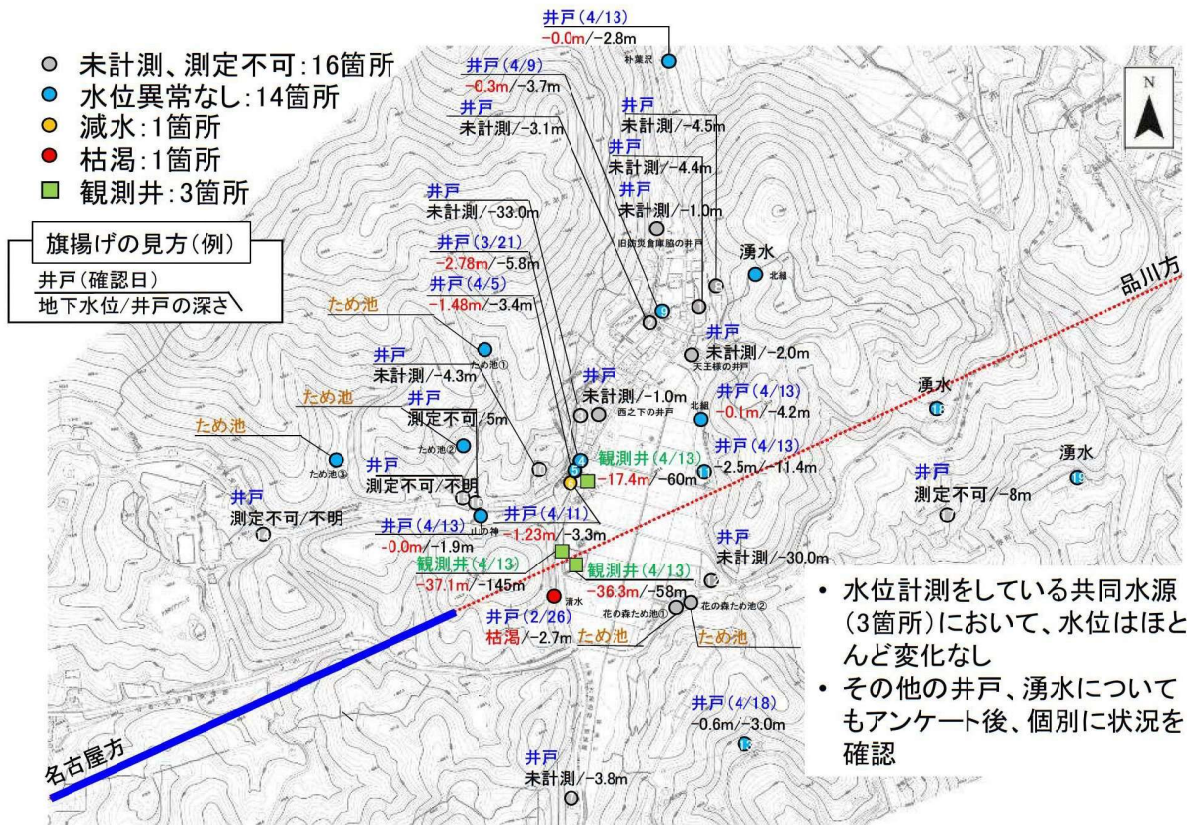
2/27時点の状況(湧水量と地下水位)

6/4第3回資料更新



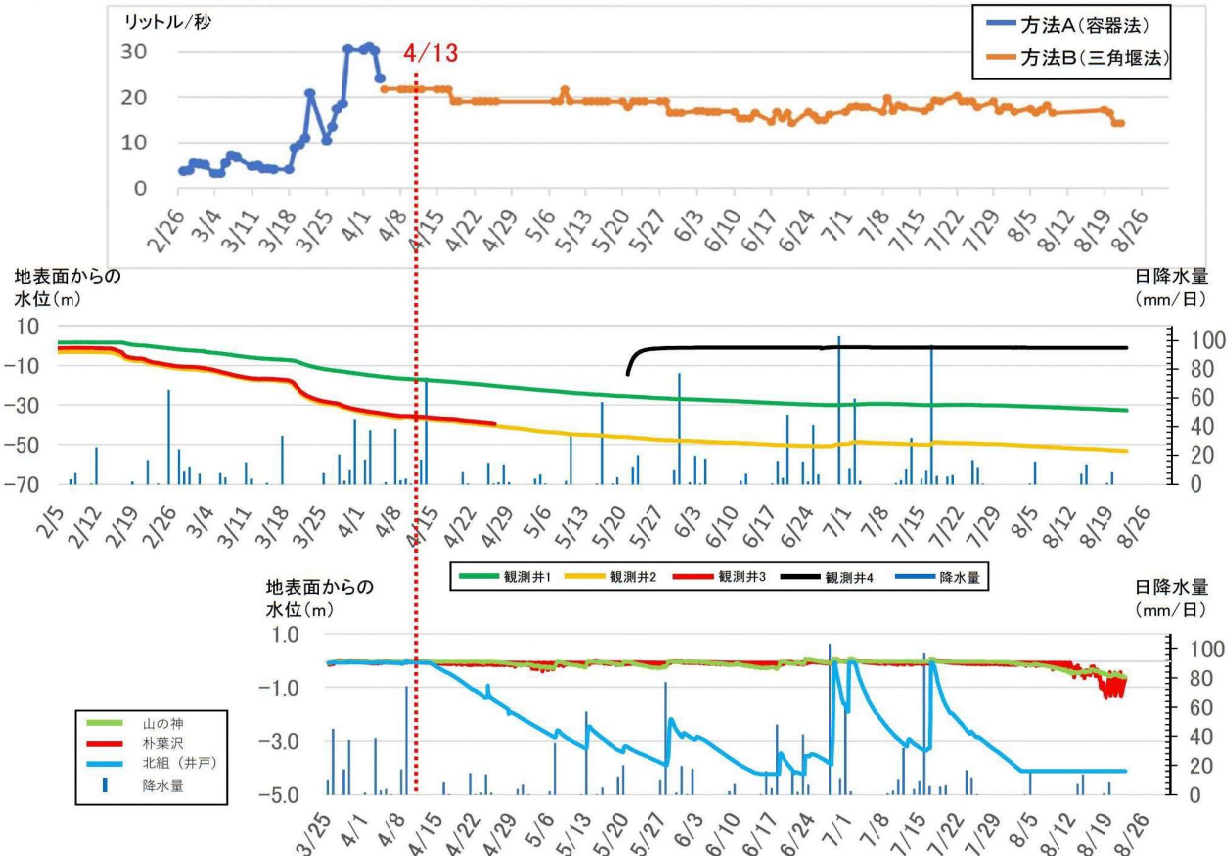
4/13時点の状況(水源)

6/4第3回資料再掲



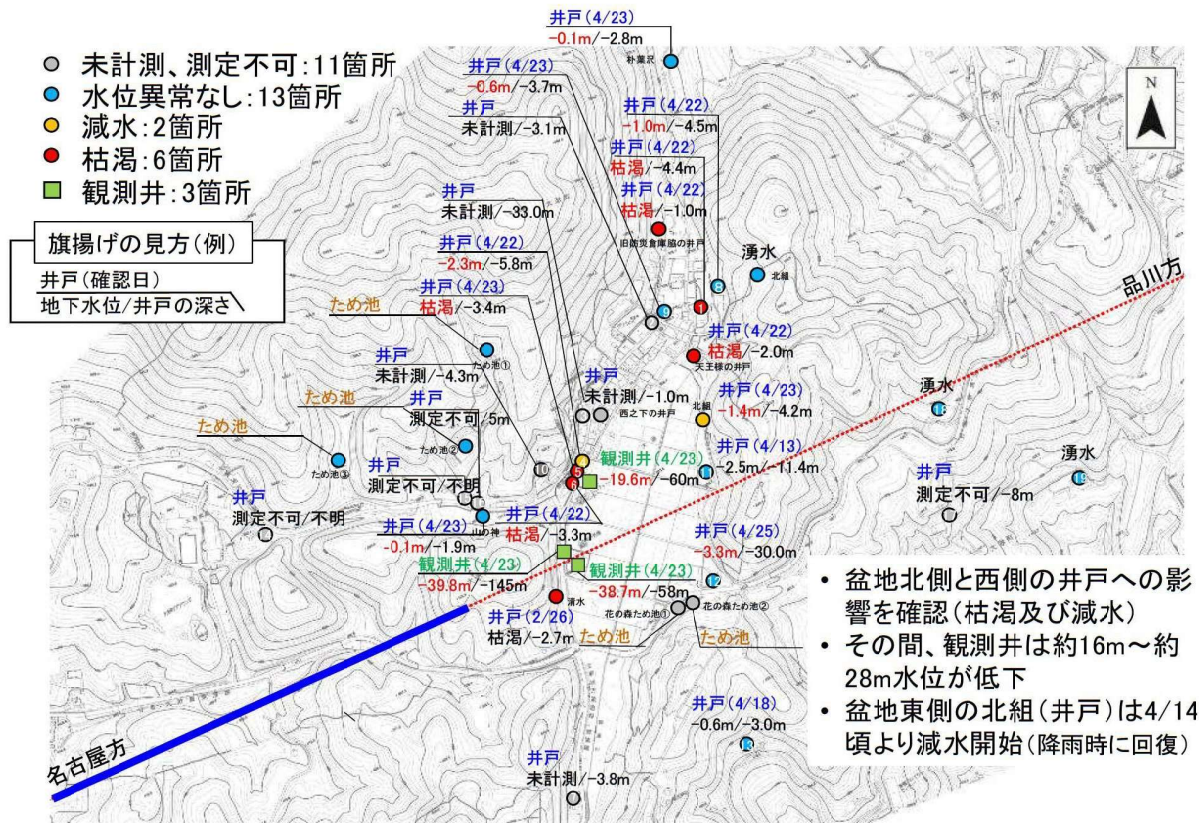
4/13時点の状況(湧水量と地下水位)

6/4第3回資料更新



4/23時点の状況(水源)

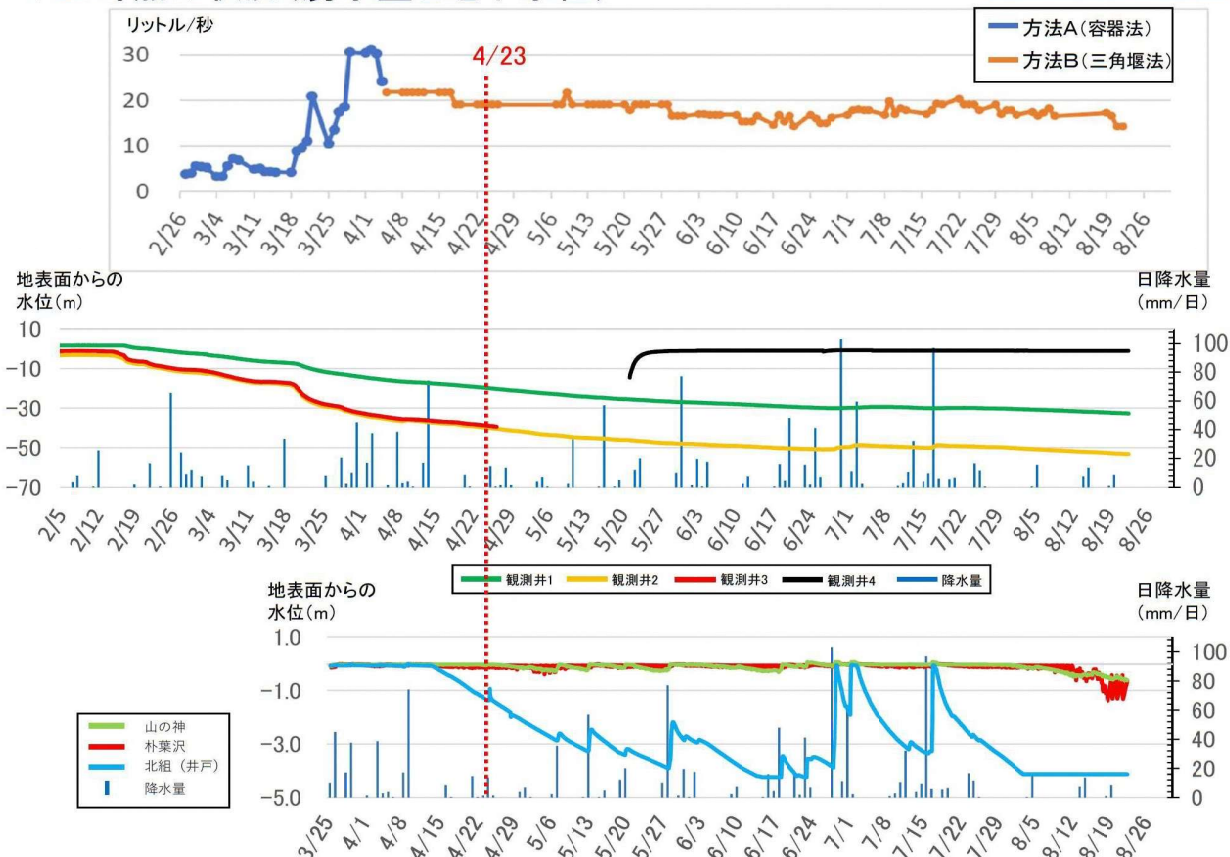
6/4第3回資料再掲



- 盆地北側と西側の井戸への影響を確認(枯渇及び減水)
- その間、観測井は約16m~約28m水位が低下
- 盆地東側の北組(井戸)は4/14頃より減水開始(降雨時に回復)

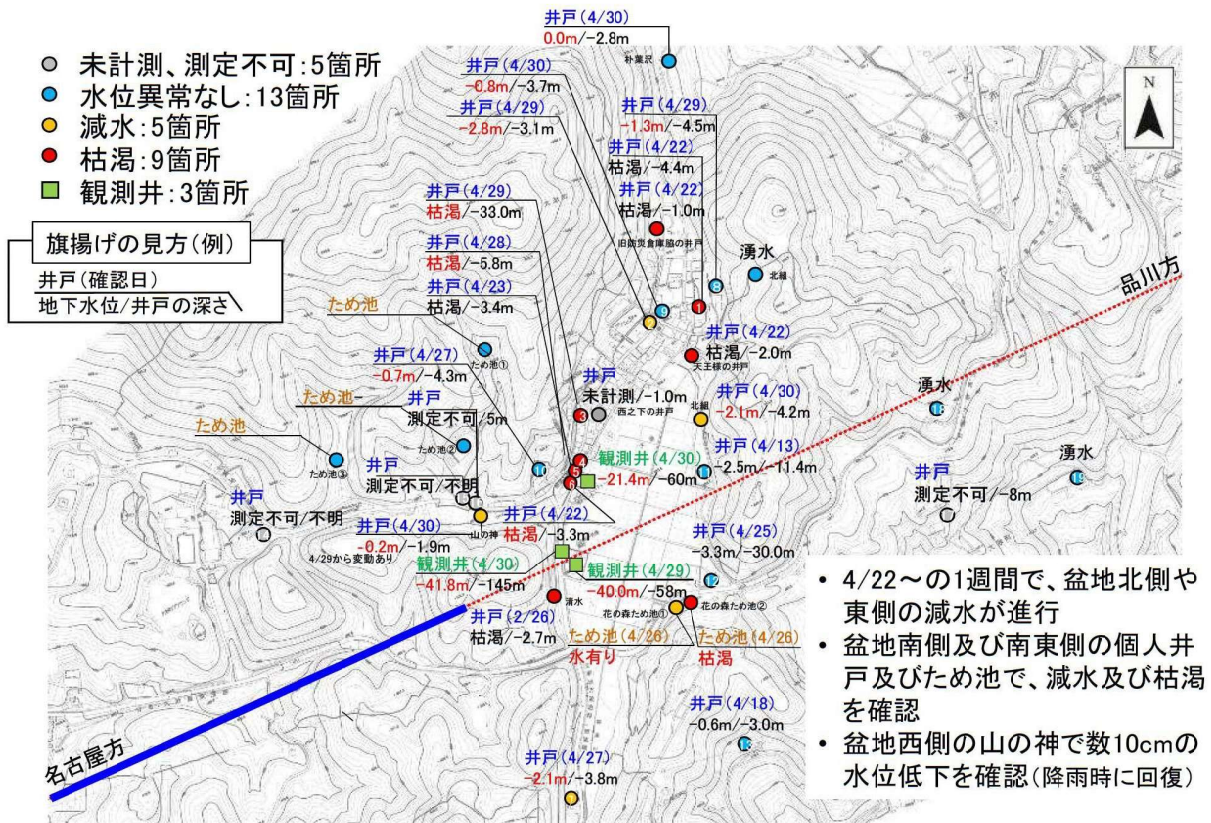
4/23時点の状況(湧水量と地下水位)

6/4第3回資料更新



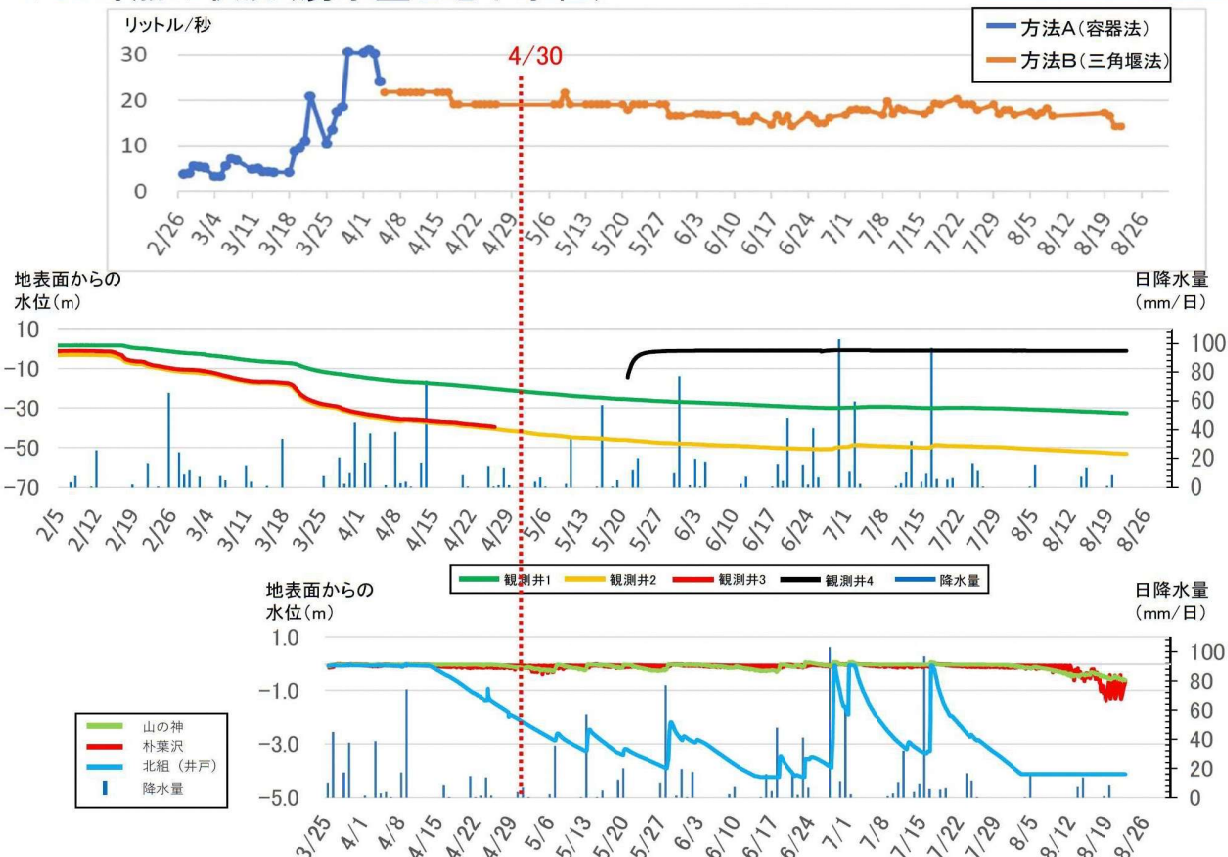
4/30時点の状況(水源)

6/4第3回資料再掲



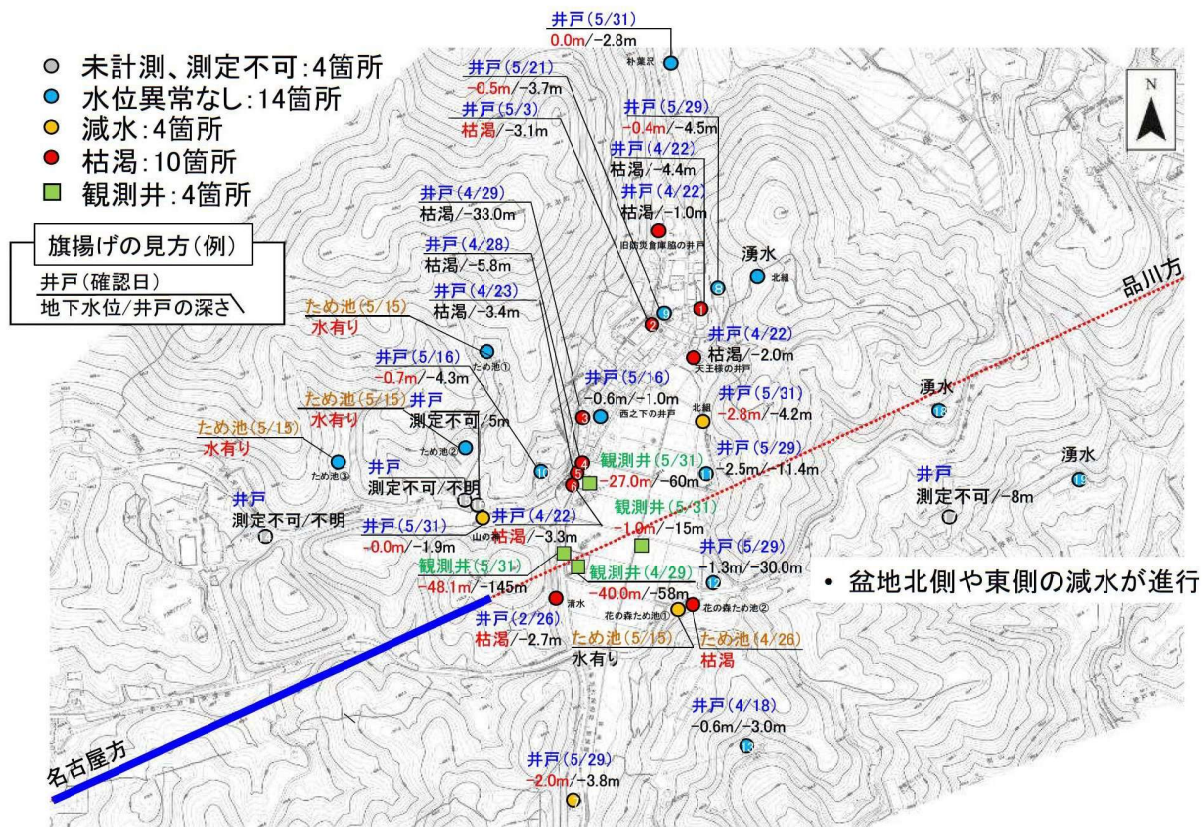
4/30時点の状況(湧水量と地下水位)

6/4第3回資料更新



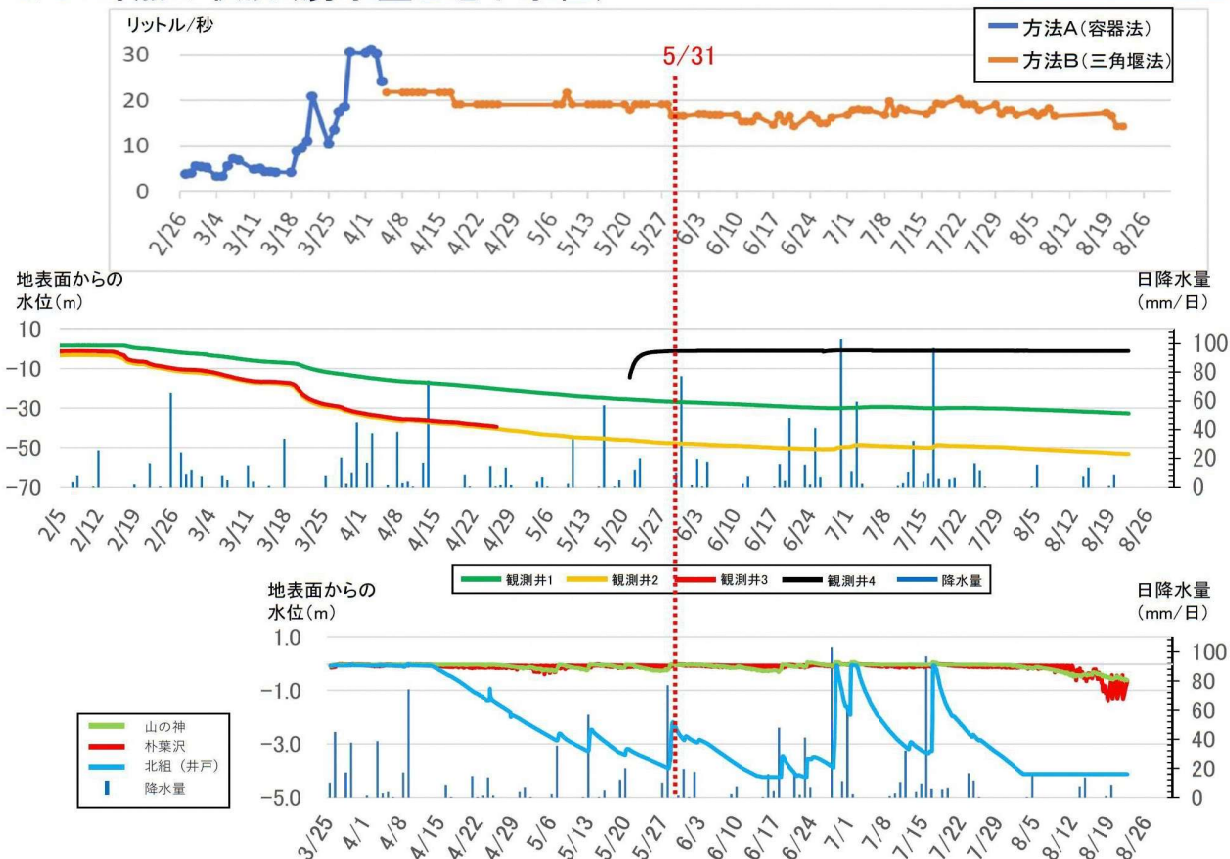
5/31時点の状況(水源)

6/4第3回資料再掲



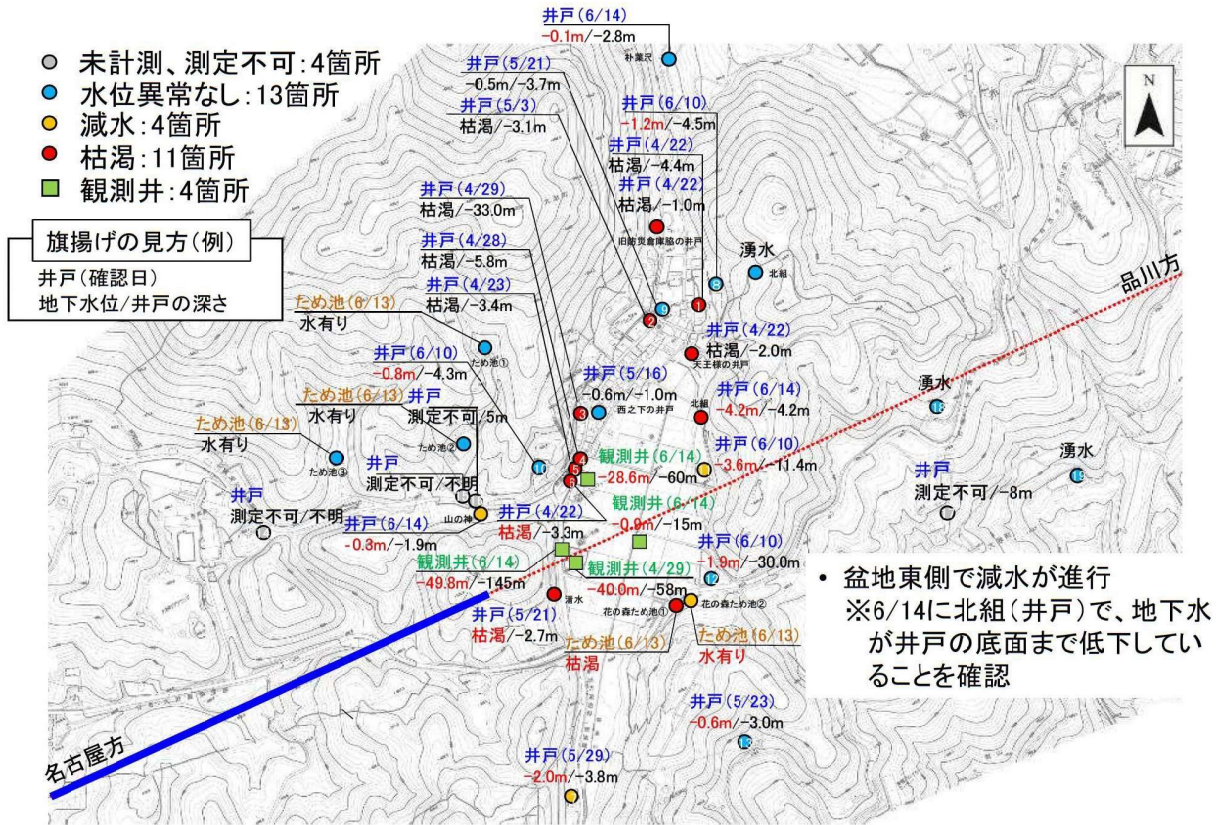
5/31時点の状況(湧水量と地下水位)

6/4第3回資料更新



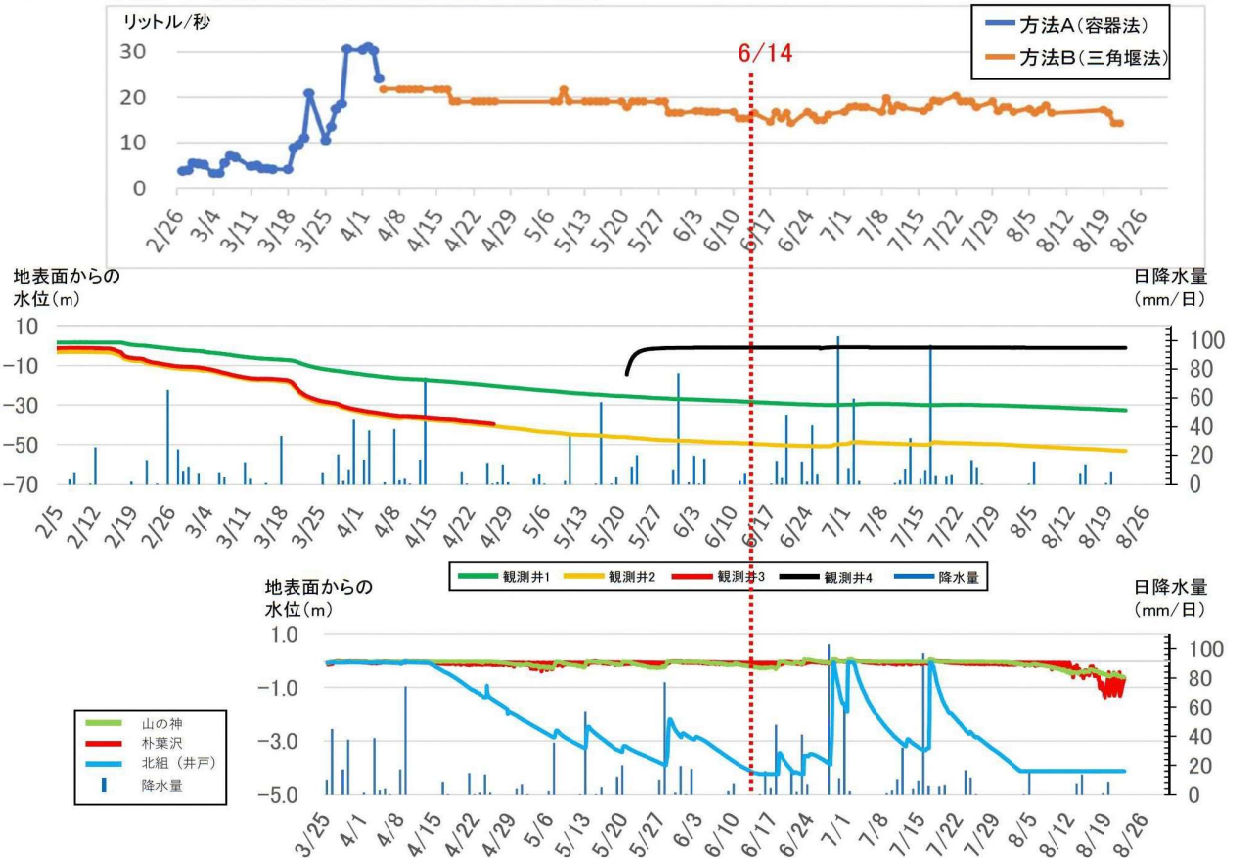
6/14時点の状況(水源)

6/4第3回資料再掲

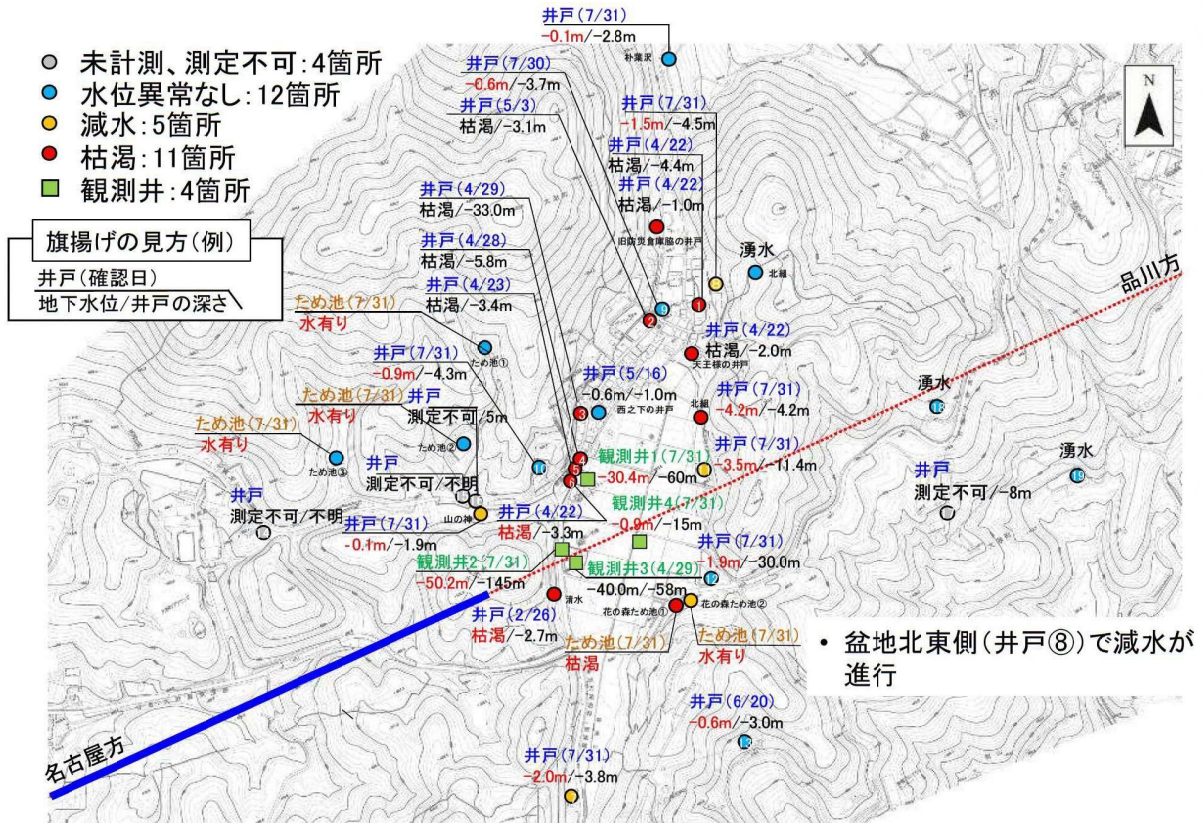


6/14時点の状況(湧水量と地下水位)

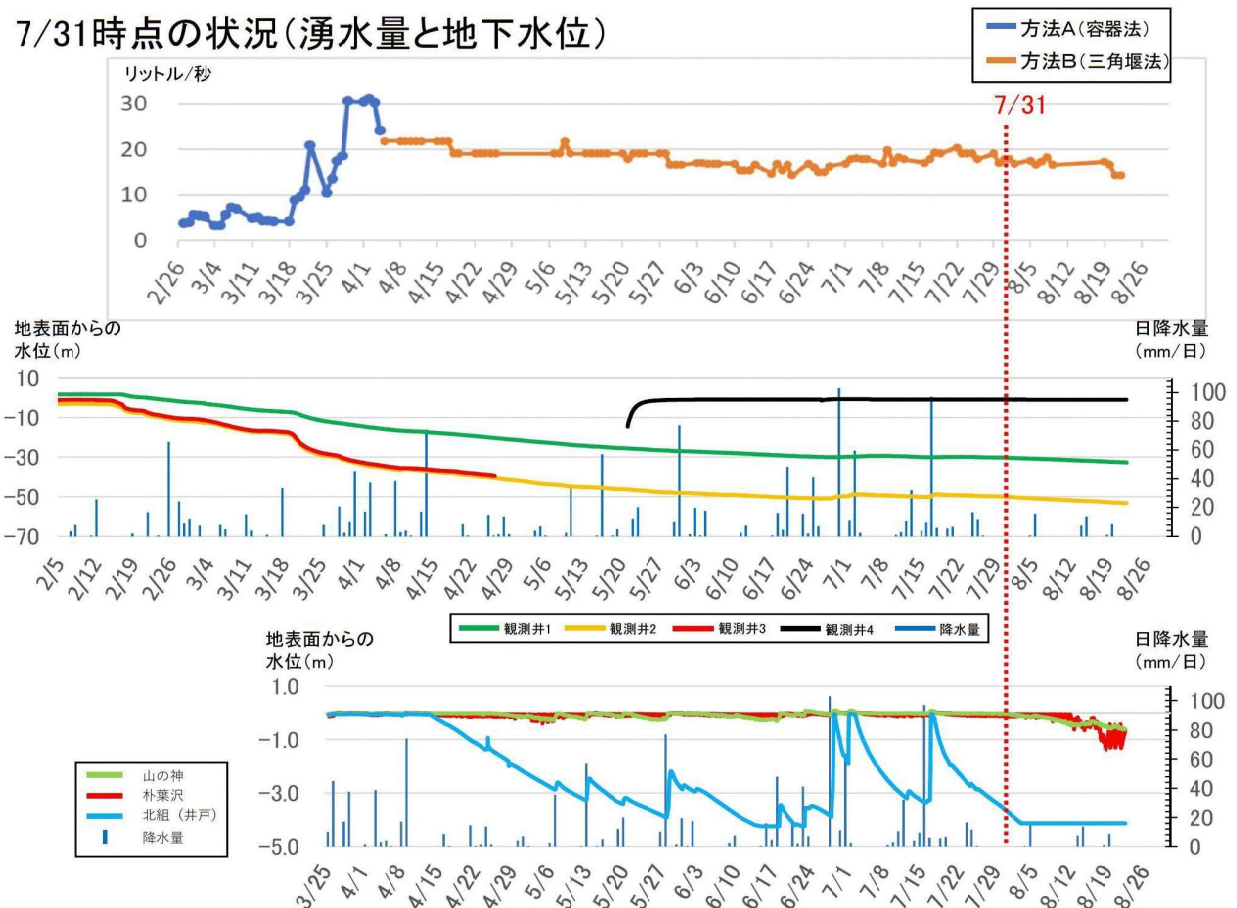
6/4第3回資料更新



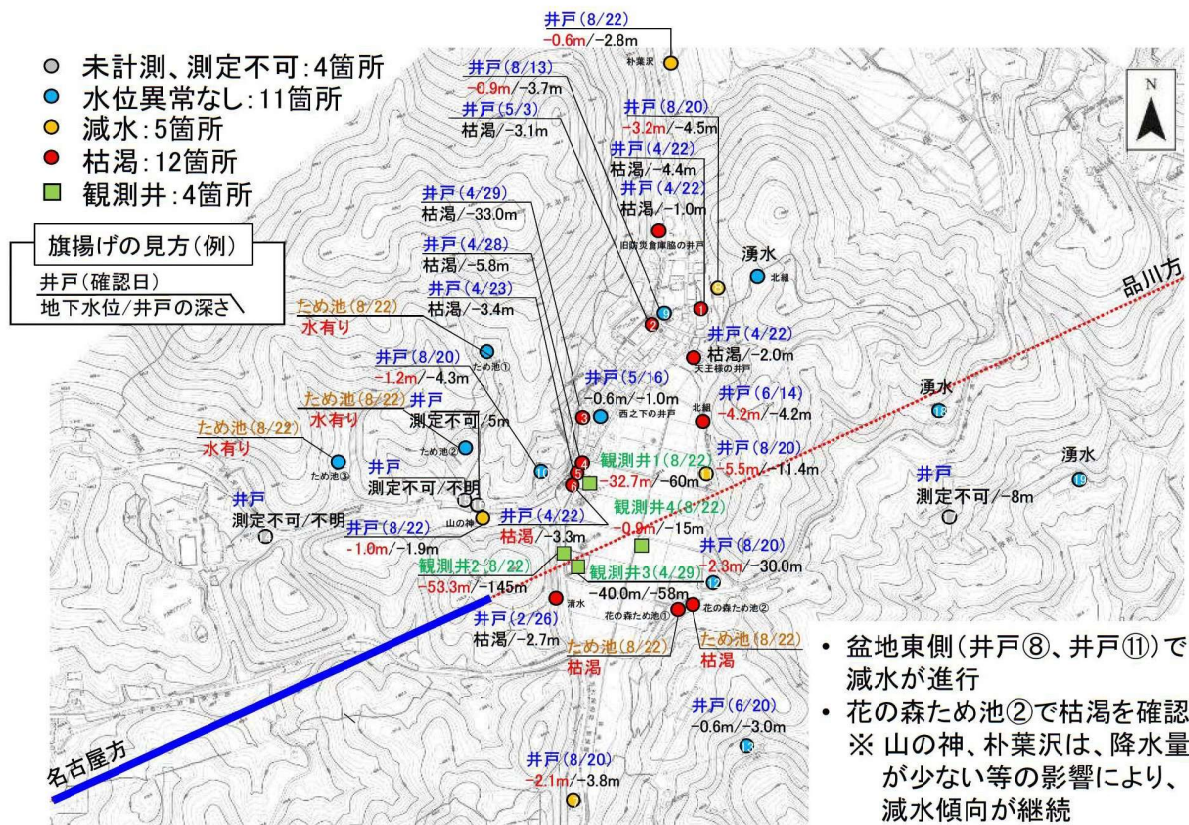
7/31時点の状況(水源)



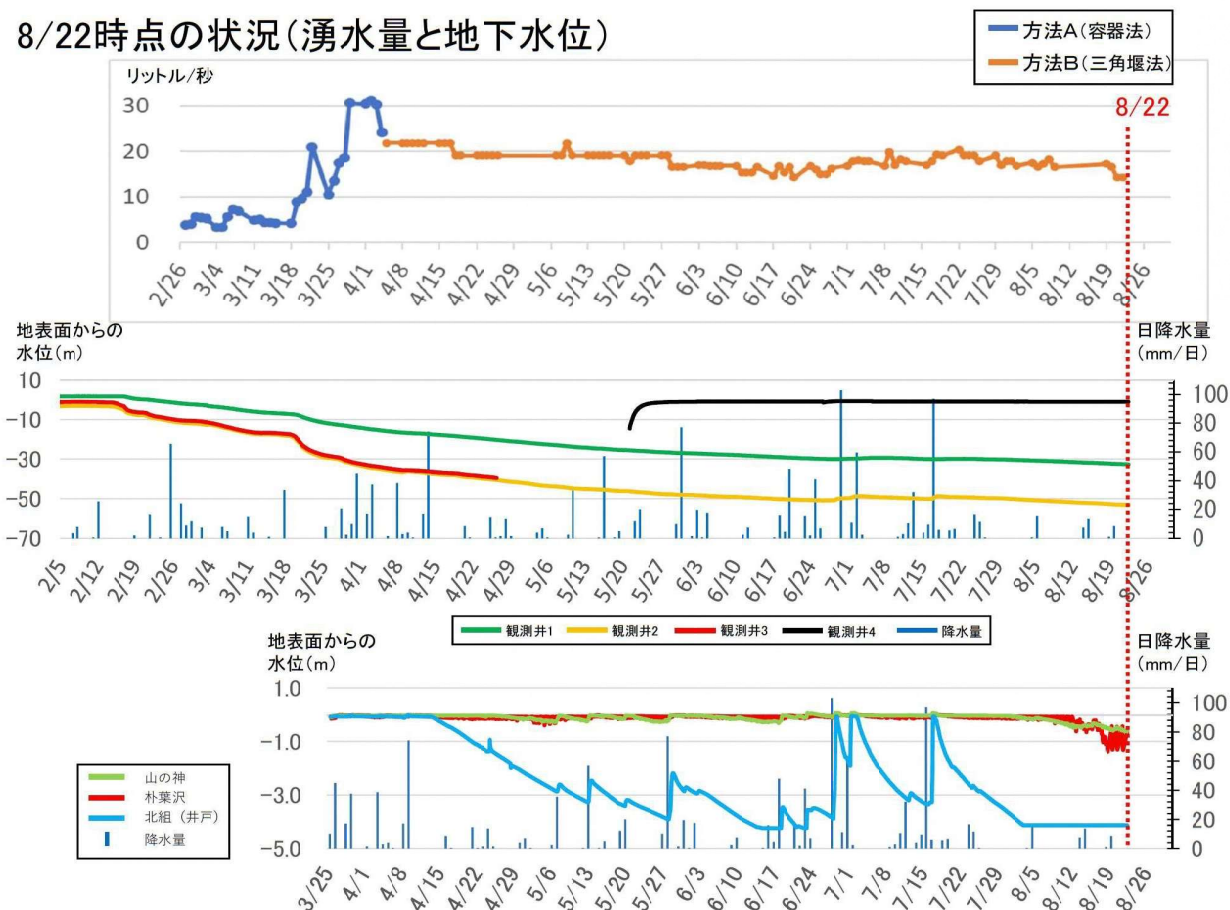
7/31時点の状況(湧水量と地下水位)



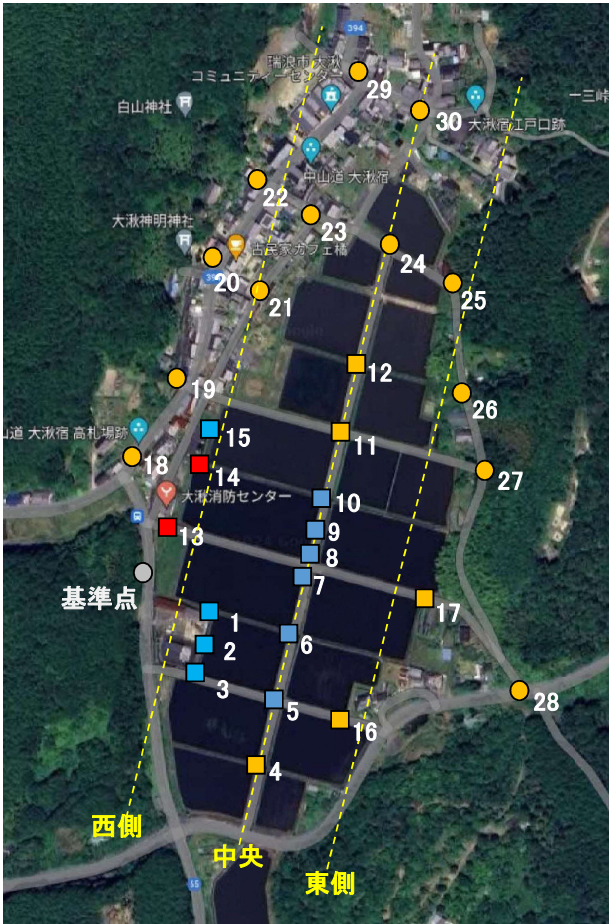
8/22時点の状況(水源)



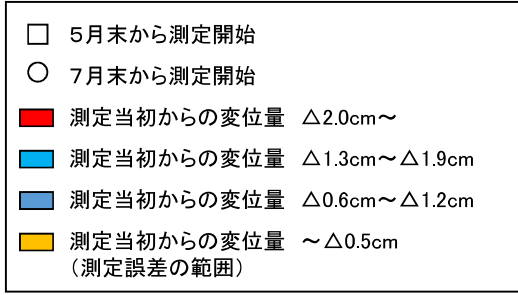
8/22時点の状況(湧水量と地下水位)



地表面測定結果



- ・ 地下水位の計測に加えて、地表面高さの計測を実施している
- ・ トンネル湧水箇所に近い一部の計測箇所において地表面の低下の傾向がみられる
- ・ 集落周辺については、低下傾向は認められないものの、家屋調査の準備を進めている
- ・ 大湫断層周辺、大湫盆地西縁は断層による破碎質な地質、崖錐堆積物等により構成された地質が多く分布しており、地下水が抜けることに伴い地表面の低下現象がおきたと推定される
- ・ なお、坑内計測に目立った変位は無く、地表面の陥没に至ることはないと考えている
- ・ 今後も注意深く地表面の状況を確認していく



地表面測定結果

